

—新しい年度を迎えて—

医療福祉支援センター 副センター長
看護師長 工藤ゆかり

2022年4月から医療福祉支援センターはセンター長が今までの小林先生から腎臓内科の安田先生に代わり、新体制でスタート致します。また、看護師やMSWも少しメンバーが替わり、新たな気持ちでスタッフ一同協力し合って、業務に取り組みたいと考えております。

新体制といっても業務内容が大きく変更することは無く、今まで通り、入院前から患者さんの気持ちに寄り添って入院中の不安の軽減に努め、早期から退院支援を行い、患者さんをシームレスに生活の場に戻すことが出来るようにしていきたいと思っています。もちろん、医療相談や経済的な相談等の相談業務も今まで同様に行っていきます。

2022年1月4日から先端医療センターの「メディカル・サポート・エリア」も稼働し始め、入院予約や入院前情報収集、検査説明等も患者さんへの細やかなサービスを提供出来るようになったと感じております。入院前情報収集を完全予約制に移行することで待ち時間の短縮、また全室個室対応することで患者さんのプライバシーに配慮することが今まで以上に出来るようになると思っています。今後は「周術期センター(仮)」の稼働も控えており、「メディカル・サポート・エリア」は患者さんのニーズに合わせて、柔軟に対応していきたいと思っています。

退院支援部門も主治医や病棟看護師からの依頼で早期より患者さんの意思確認をし、家人の気持ちに寄り添いながら希望に添えるように退院支援を行っています。在宅を支えてくれる方達とも今までのような対面のカンファレンスを開催することが出来なくなり、リモート会議の中で情報共有することが多くなり、一抹の寂しさをお感じはしておりますが、それでも患者さんの生活を支えるために一生懸命頑張っています。

今年度は診療報酬の改定も行われ、医療福祉支援センターに求められる業務が拡大するなか、世の中のニーズに合わせ、患者さんの意思を第一に考え、安田先生を中心に新たな気持ちで業務に取り組み、時代の流れを敏感に感じ取り、対応をしていきたいと考えております。

